

あ と が き

本校が「学びをデザインする子どもたち」というテーマを掲げ、研究に取り組み、3年という一区切りを迎えました。

「学びをデザインする子どもたち」とテーマを設定することで、これまで単元を構成するにあたり、教師が子どもの学びをデザインしてきたことから、子ども自らが学びをデザインすることが、子どもの主体的な学びを実現するためには必要であると考えました。そのために、サブテーマを設定し研究の視点を明確にしながら進めてまいりました。

1年次は、「3つの対話の充実によって」としました。「3つの対話」である、「対象との対話・他者との対話・自己との対話」のそれぞれが関連し合い、充実することによって質の高い学びが成立するものと考えました。

2年次は、「つなぐ・つむぐ・つくる」としました。これは、子どもたちが、新たな自分を「つくる」ために子どもたちへのみとりと支援として「つなぐ・つむぐ」ことを大切にしたいと考えたからです。

そして、3年次である今年度は、「課題意識の深化を通して」としました。子どもたちの興味関心から生まれる「学びたい」という欲求が、学習課題に向かっていたり、新たな疑問を生み出していたりする過程を何よりも大切にしたいと考えたからです。

また、3年間を通して、学級に温かい雰囲気の流れ、どの子にとっても居心地のよい、聴き合い・学び合える学級風土を大切にしてきました。

3年間にわたり研究の成果を、研究発表会や紀要等で発信してまいりました。研究を進めるにあたり、多くの先生方にご指導、ご助言いただくことができましたこと、心より御礼申し上げます。秋田喜代美先生には、平成21年度の教育研究発表会から毎年、本校に来ていただき、ご指導を賜りました。また、今年度は佐藤学先生にも、6年ぶりにおいでいただきお二人の先生による記念対談という形で、ご指導をいただき深く感謝いたします。

今日まで、大勢の皆様からいただいたご意見・ご指導を糧に、今後も研究を進めていく所存です。ささやかではありますが、研究成果としてまとめた紀要を多くの方々にご高覧賜り、ご教示、ご批評いただければ幸いに存じます。

副校長 池田 彦男